

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4070702107
法人名	(株)エルダーサービス
事業所名	グループホーム折尾東
所在地	福岡県北九州市八幡西区丸尾町6-22
自己評価作成日	平成23年10月22日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成23年11月4日	評価結果確定日	平成23年12月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近隣の保育所などと交流があり、子供達とのふれあいを楽しんでいる。街中という事もあり、地域資源の利用もしている。
併設のデイサービスがあり、毎年合同で行われる夏祭りや餅つき大会等があり、入居者様や御家族の好評の行事となっている。法人内にはデイサービスセンター・ヘルパーセンター・居宅介護センター等があり、地域の方々や御家族の相談にも、おおいに活用されている。
職員は、入居者様が地域の中で「自分らしく」日々楽しく過ごしていただける様、常に入居者様や御家族の「思い」を大切に「笑顔」で支援を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

北九州市内多数の文教地区として知られる周辺環境の中にあり、デイサービスセンターが併設された平屋建て1ユニットのグループホームとなる。隣接するコンビニエンスストアや道路向かいには協力医療機関も位置する等、利便性が高い市街地に位置している。様々な介護サービス事業を県内外で展開する法人としての連携は、職員育成や合同研修、合同行事の実施、また蓄積されたノウハウの共有等にて活かされ、入居者一人ひとりの「自分らしさ」の実現に向けたサービスの提供につなげるよう取り組んでいる。また、運営推進会議後には毎回家族会を開催していることや、昨年度は自治会の組長を務める等、家族や地域との関係性を大切に積み重ねながら、開設して9年目を迎えている。今後も、更なる個別支援の追求と、地域拠点としての活動展開が大いに期待される事業所である。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果					
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は目につきやすい場所(玄関入り口)に掲示しており、毎朝のミーティングや定例会時に理念を唱和し、日々の業務の中で理念に根ざしたケアやサービスの支援に努め、実践に向けて取り組んでいる。	画一的なケアではなく、個別支援を念頭に置いた支援となるよう、毎朝のミーティングや定例会等を通じて、理念の共有と浸透を図っている。また、介護計画への反映等を通じて、実践につなげる取り組みがある。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し組長としての役割も果たし回覧板や市政だよりを配布するなど地域住民としての役割をし、地域の連携に努めている。盆踊りなどに参加し日常生活の中で自然な交流がある。	昨年は自治会の組長を務めており、回覧板や市政だよりを入居者の方々と共に配布し、地域の一員としての役割を担いながら、交流を積み重ねている。入居者全員で参加する地域の盆踊りでは、地域の方により席が確保されていたり、保育園児がホームを訪れ、演技や発表を披露してくれている。活け花、絵手紙等のボランティアが定期的に来訪している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議などに於いて、地域の方から認知症高齢者の対応等の相談をうけアドバイスや助言を行っている。また、電話での相談や見学者に対しても出来る事があれば敏速に対応するよう心がけている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は定期的に2ヶ月に1回開催している。運営推進会議では、外部評価の結果を報告する等、取り組みや活動状況の報告や家族会の報告も行い意見や要望をお聞きし運営面に活かす取り組みを行っている。また、会議で得た情報を検討し、日々の業務に活かせるよう努めている。	地域住民代表、民生委員、成年後見人、地域包括支援センター職員等のメンバー構成により、定期開催されている。家族全員に案内を行っているため、家族の参加が多いことも特徴的である。また、リビングで開催されることから、入居者の方々の自然な参加がある。家族や地域、行政からの意見収集の機会として活用し、また災害対策等について意見交換が行われている。議事録は玄関に掲示されている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	北九州市の担当課とは、常に連絡を取り、情報交換を行っている。運営推進会議にも参加していただき意見交換を行い協力関係を築いている。	運営推進会議には、地域包括支援センター職員の出席を得ている。また、法人内グループホーム合同定例会では、保健師による講義も行われる等、連携を図っている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修に積極的に参加し、内部研修を行う事により職員で話し合い学ぶことにより身体拘束をしないよう注意し、防止に努めている。日中は玄関の施錠はしておらず自由に出入りできるようにしている。	法人内のグループホームが合同で、身体拘束の排除について研修を行い、ホームでの伝達研修が行われている。想定されるリスクや拘束による弊害について、家族との共有認識を図りながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中、玄関の施錠は行われておらず、個別の距離感を保ちながら見守りを行っている。	

福岡県 グループホーム 折尾東

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に積極的に参加し、内部研修を行い職員で話し合い学ぶことにより日頃からの虐待を見過ごす事がないよう注意し、防止に努めている。職員間意見の言いやすい環境にし予防ができるように努めている。		
8	(6)	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当グループホームにて成年後見人制度を利用している入居者がおり、支援できる体制を整えている。外部研修にも参加して、内部研修を行い資料を配布し必要な時に活用できるように取り組んでいる。	現在、権利擁護に関する制度を活用している方もおり、運営推進会議には、成年後見人の出席も得ている。また、会議の中で、制度に関する説明が行われる等、情報発信も行われている。職員研修の機会を確保し、制度活用の必要性について検討が行われた事例もある。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時は必ず文章と口頭で納得していただけるように説明を行っている。また、質問しやすい雰囲気作り努めている。		
10	(7)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情箱を設置し、直接言いにくい事は、苦情箱に入れていただくようにしている。運営推進会議では、入居者様、御家族にも参加していただき、意見や要望、苦情等を話せる機会を設けている。	全家族に運営推進会議の案内を行い、会議終了後には家族会が開催され、活発な意見交換が行われている。また、各担当者より、毎月の報告書と共に、家族に向けた手紙を送付しており、日常の様子を報告している。	
11	(8)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に、管理者が職員とのヒアリングを行い、意見を聞く機会を設けている。その都度、話し合いを設け運営に反映させている。	定期、及び随時の個人面談や職員アンケートを実施し、職員意見の表出の機会としている。ホームとして、また、法人内グループホーム合同での定例会議を交互に行い、情報共有や意見交換の機会としている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	様々な状況に応じて勤務の調整を行い、柔軟な対応を心がけている。個人面談などを行い職員一人ひとり向上心を持って働ける環境の整備に努めている。		
13	(9)	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用は、年齢・性格などで排除する事はない。管理者は、定期的にヒアリングを行い、職員の向上心や、業務に対する意見や提案を聞くように努め、職員の精神的フォローを心がけている。また、職員がいきいきと働けるように研修などの受講を含めサポートしている。	基本的に常勤採用となり、現在、職員体制は安定している。ヘルパー2級以上という基本的な条件はあるが、面接に来訪した際の、入居者の方々の表情や反応も参考にしながら、採用を決定している。外部研修、法人内グループホーム合同研修、ホーム内勉強会等、研修の機会の確保や他事業所との交流の機会を設けている。	

福岡県 グループホーム 折尾東

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(10)	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	外部研修に積極的に参加し、内部研修を行い人権に対する意識を高めている。また、日々の暮らしの中でも入居者様の人権に配慮したケアを行う様に努めている。	外部研修への参加、及び内部での伝達を行い、職員の人権意識を高めている。また、職員のストレスケアにも留意し、定期、及び随時の個人面談の中で、それぞれの心情や状況の把握に努めている。	
15		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年度ごとに、法人内4事業所(グループホーム)合同の、研修計画をたてている。合同研修は2ヶ月ごとに行っている。また、その他の月は、各事業所にて研修会を行っている。研修会では事例検討や外部研修の資料を配布する等人材育成に努めている。また、日々の業務の中で相互に意見をしやい、学べるような職場環境に努めている。		
16		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内4事業所のグループホームと、定期的開催している研修会や相互の訪問を通して、交流や情報交換を行っている。また、外部での研修会や勉強会を機に、法人外のグループホームとも、相互訪問・情報交換を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談に伺い、ゆっくりと話を聞き、困っている事、不安な事、求めている事などに対して、ご本人が入居する前までに、出来る限り環境を整えるよう努める。		
18		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族と面談を行いご家族との関わりあい方や、ご家族が困っている事、不安な事、要望などを詳しく聞き、ご本人が安心して、日々生活できる事をお伝えし、また、入居後も随時相談等受け付けることをお伝えして。		
19		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人とご家族と話し合い、最も必要としている支援、サービスを考慮した対応に努めている。		
20		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の暮らしの中で共に支え合い、普段の何気ない会話を大切に、さりげなく支援する事により、お互いが「ありがとう」と伝える関係が築かれている。		

福岡県 グループホーム 折尾東

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会や来訪時に、入居者様の日々の生活等をお伝えし、行事の参加、病院受診の付き添い、外出等、職員と一緒に行事により、一方の立場におかずに一緒に支えていく関係が築かれている。		
22	(11)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまで大切にしてきた馴染みの方と交流・馴染みの場所など、関係が途切れないようご家族と話し合い支援を行っている。	2ヶ月に1回、家族会を開催する等、家族との関係性を大切にしている。育った場所や懐かしい場所、興味のある場所等へ少人数でドライブしたり、家族の協力も得ながら、お墓参りに出かけている。	
23		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の趣味等を把握し、皆様で楽しめるようなレクリエーション等を行い、利用者同士が関わり合えるよう支援している。また、職員が間に入り、会話を盛り上げ、日々笑顔で過ごせるよう努めている。		
24		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居者様のご家族へ、管理者より連絡を取り現在の様子を伺ったり、ご家族の方からの相談には、ニーズに応じた関係機関を紹介するなど、御本人、ご家族が満足したサービスが提供できるよう支援に努める。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	(12)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の思いや意志を職員で共有する為に「ミーティングシート」により、情報の共有化を図っている。入居者さまとの会話を大切に、会話の中から本人本位の思いや意向を聞き取りアセスメントを行い、本人のライフスタイルなどを尊重した、ケアやサービスの提供を行っている。	入居時に、家族の協力も得ながら、生活暦やライフスタイル等に関する丁寧な情報収集が行われており、随時更新されている。観察の視点や記録の方法が明確となっている個人記録には、入居者の主観的な情報も記載されており、日々の心身状況が把握しやすく、共有しやすい内容となっている。毎月、個別のカンファレンスが行われ、思いやニーズの把握へとつなげている。	
26		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人との日々の会話やご家族からの情報により生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境の把握に努めている。		
27		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で、一人ひとりが「自分らしく」すごして頂けるよう、心身の状態を理解し、日々の変化など職員間での伝達を周知し、現状の把握に努めている。		

福岡県 グループホーム 折尾東

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28	(13)	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>御本人やご家族から話しを聞き、関係者とカンファレンスを行い介護支援専門員が介護計画を作成している。</p>	<p>担当職員や各関係者の意見をもとに、個別性ある介護計画が作成されている。毎月の個別カンファレンスやモニタリングを通じて、現状の確認や見直しへとつなげている。</p>	
29		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録は、個別に記録しており日々の様子、心身の状態、ケアの実践等が詳細に記載されている。また気づきや工夫などは朝・夕の申し送りに話し合い、ミーティングシートにおとし職員間での情報の共有に努め介護計画の見直しに活かしている。</p>		
30		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>デイサービスを併設し、デイサービスのカラオケやマッサージ機を利用することができ、デイサービスとの合同行事を楽しむ事ができ利用者との交流やふれあいの機会が多い。また、法人内に訪問介護、介護支援センターなどがあり、御本人やご家族に応じた支援をしている。</p>		
31		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>2ヶ月に一度の運営推進会議、ボランティアの方々による毎月の折り紙教室・生け花教室の開催、近隣保育所との交流などを行っている。</p>		
32	(14)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>特に希望がない方には、御本人・ご家族の同意を得て協力医に1ヶ月1回の往診又は、受診を行っている1週間に1度の訪問歯科の往診を受けている。状態変化や健康状態に問題が生じた場合は早急に受診行い対応している。受診結果は随時ご家族へ報告している。</p>	<p>入居時に、かかりつけ医についての意向確認を行い、同意を得ている。道路向かいには協力医療機関があり、月1回の往診、受診が行われている。看護計画には個別の課題やニーズが示され、職員間で共有を図りながら健康管理を行っており、定期的に評価も実施されている。</p>	
33		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員と常に連携をとり入居者の日々の状態を相談し日常の健康管理を支援している。また、看護計画を把握し入居者の状態の変化があった時には直ぐに報告し、指示を仰ぐようにしている。</p>		
34		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には頻繁にお見舞いに伺い、入居者様が安心して過ごせるよう支援している。また、病院の医師や看護師、ソーシャルワーカーと連携し状況把握に努める。退院に向けてのカンファレンスには御家族と一緒に参加している。</p>		

福岡県 グループホーム 折尾東

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(15)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者が重度化してきた場合かかりつけ医、御家族と話し合い状況の把握をし、事業所にて出来る事、出来ない事を見極め職員全員で支援するよう取り組んでいる。	重度化した場合における対応に係る指針を定め、入居時に説明を行い、同意を得ている。状態の変化に応じて、本人、家族の意向確認を行い、医師を交えた話し合いを重ねながら方針を共有している。	
36		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応について、内部研修や外部研修に参加している。消防署の方に来ていただき心臓マッサージやAEDの使用方法などの講習を行い備えている。		
37	(16)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行っており昼夜を問わずに入居者様が安全に避難出来るよう訓練を行っている。自治会、近隣の方へ災害時の協力もお願いしている。緊急通報装置・スプリンクラーの設置もある。	年2回、昼夜を想定した避難訓練を実施している。運営推進会議の中で話し合いを行い、隣接するコンビニエンスストアへの協力依頼も行われており、地域との協力体制作りに取り組んでいる。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	(17)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いに気をつけ人生の先輩でもある入居者様にたいして、常に尊敬の気持ちを忘れずにプライバシーに配慮した言葉かけや笑顔で優しく対応するなど心がけている。「親しき仲にも礼儀あり」を常に職員に周知徹底している。	定例会の勉強会の中で、個人の尊重や尊厳を大切にしたいかかわりについて、共有認識を図っている。特に排泄ケアの際の声かけや対応については、十分な配慮を心がけている。	
39		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が自己決定、自己選択が行える様声かけし自分の意志が表現できるよう支援している。		
40		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりのペースを大切に、その日の天候や健康状態に合わせ、入居者の希望を尊重し日々穏やかに、楽しく過ごしていただけるよう支援している。		
41		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回訪問美容院が来訪し、カットや顔そりを行っている。行きつけの美容室へ御家族と行かれる入居者様もいる。日々の生活でも身だしなみには気をつけている。		

福岡県 グループホーム 折尾東

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42	(18)	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>一人ひとりの好みを献立に活かし彩りや盛り付けを工夫し入居者様と職員が楽しく会話をしながら食事をしている。外食を楽しんでいたたり、職員手作りの軽食なども楽しんでいた。</p>	<p>朝・夕食はホームでの調理となり、昼食は併設するデイサービスとの連携を図っている。調理担当職員が配置され、出来るだけ食材の形状や風味を残した食事を提供できるよう、細やかな配慮が行われている。時には仕出し寿司やお好み焼きの出前を注文したり、外食に出かけたりと、普段とは違う雰囲気を楽しんでいる。</p>	
43		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>検食簿や食事チェック表に一人ひとりの食事摂取量や水分摂取量を記入して、職員全員が把握している。摂取量が足りない入居者への強化にも努めている。</p>		
44		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、一人ひとりに応じた口腔ケアを行っている。また、必要な方は1週間に1回訪問歯科を受けている。医師よりの助言や指導もある。</p>		
45	(19)	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>排泄シートへ記入し、一人ひとりのパターンを職員全員が把握している。また、時間毎のトイレ誘導など行い気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>排泄・水分チェック表により、個別の状況やパターン、リズムの把握に努めている。また、水分摂取と排泄状況の関連を重要視している。夜間も含めた個別の対応を行い、トイレ誘導や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	
46		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘予防の為に1日の水分摂取量などを記入し、水分強化やその方の好みに合わせた飲み物など工夫している。また適度な運動を心がけている。食事の摂取量も留意している。</p>		
47	(20)	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>週3～4回の入浴を基本としているが、本人の希望を聞き入浴日や時間など柔軟な対応も行っている。</p>	<p>毎日入浴準備を行い、その日の体調や希望、状況に柔軟に対応している。これまでの生活習慣や清潔面での配慮から、概ね2日に1回程度の入浴となるよう支援している。皮膚の状態や希望にあわせて、石鹸を選択する等、細やかな対応も行われている。</p>	
48		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>安心して気持ちよく休息したり眠れるよう室温調整や換気等に配慮している。また、日々適度な運動など心がけている。</p>		

福岡県 グループホーム 折尾東

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のファイルに薬の説明書をファイルし、薬の副作用についても内部研修や定例会で学んでおり理解している。また処方が変わった場合はミーティングシートに記載し症状の変化等の確認に努めている。		
50		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の暮らしの中では、食器拭きや洗濯たたみなど無理のないように参加されている。趣味の手芸など入居者の生活歴を活かした支援を行っている。カラオケなどで気分転換を行う。		
51	(21)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や外気浴・ドライブに出かけている。季節ごとのイベントへも出掛ける。普段行けないところ等に御家族にも声をかけ外出している。	敷地内には、花壇やベンチが設けられ、季節に応じて気軽に外気浴を行うことができる環境である。家族の協力も得ながら、個別・少人数での外出支援が行えるよう努めている。	
52		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様の中には御自分でお小遣いを管理されている方もおられ、職員と一緒に買い物などに出掛けられ御自分で財布から支払われる。金銭感覚がなくなる様に支援している。		
53		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけられる時は、ホームの電話を使用されている。使用時は居室で使用する等プライバシーに配慮した支援を行っている。		
54	(22)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関を入ると開放的なリビング空間があり、対面式キッチンになっており落ち着いた雰囲気のリビングになっている。リビングにソファやマッサージチェアがあり季節の花など飾られ、入居者が居心地よく過ごせるよう工夫している。	リビングから少し離れた場所にソファが置かれ、道路の往来を眺めながら独りで過ごしたり、気の合う方同士や職員との語らいの場となっている。街中の周辺環境ではあるが、玄関周辺やリビングには季節の草花が飾られていたり、さりげない配慮が行われている。リビングには床暖房も設置され、快適な空間作りへの配慮が行われている。	
55		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや小部屋にベンチやソファを置き、ゆっくりと過ごせる場所作りに努めている。		

福岡県 グループホーム 折尾東

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
56	(23)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人や御家族と相談し御本人の使いなれた物を使用して頂き、好みの物を飾られたりし居心地がいいように工夫している。	家具の配置の工夫や個性ある飾り付けが、家族と共に行われている。各居室には、家庭的な照明器具や収納棚、温度計が設置され、安心して過ごせる環境作りへの配慮が行われている。	
57		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できるだけ出来る事はして頂き自立した生活が送れるように、必要な場所には手すりを付け物の配置に気を配り安全に努めている。		